

## 保育園における主な感染症 一覧表 —退園するまで大切に保管して下さい—

保育園は乳幼児が長時間生活を共にする場所です。子ども達が快適で安全に過ごす為に、「園内での感染症の集団発症や流行につながらない」、「子どもの健康状態が保育園での集団生活に対応できる状態に回復している」ことを目的として対策をとっています。

感染症はお子さんにとって辛い症状が多く、合併症などにより重篤な症状を起こす場合があります。「人にうつすから」ではなく、「お子さんの身体の為」にも十分休ませてあげましょう。

\* 治癒証明書があっても、お子さんの全身状態によってはお迎えをお願いする場合があります。

	病名	潜伏期間	感染可能期間	主な症状	登園基準
1	水痘 (水ぼうそう)	14～ 16日	発しん出現 1～2 日前 から痂皮形成まで	軽熱、全身に紅斑、斑点丘疹状→水泡 →顆粒状痂皮	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化 してから
2	流行性耳下腺炎 (おたふく)	16～ 18日	発症 3 日前から耳下腺 腫脹後 4 日	発熱、片側か両側の耳下腺、 舌下腺の腫脹及び圧痛	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現 してから 5 日を経過するまで、かつ 全身状態が良好になるまで
3	インフルエンザ	1～4 日 平均 2 日	症状が有る期間(発症 前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感 染力が強い)	発熱、全身倦怠、筋肉痛、頭痛、咽頭 痛、咳合併症:肺炎、中耳炎、熱性けい れん、脳症	発症した日の翌日から 5 日を経過 し、かつ解熱した日の翌日から 2 日 を経過するまで(乳幼児にあっては、 3 日を経過するまで)
4	咽頭結膜熱 (プール熱) (アデノウイルス)	2～14 日	発熱・充血等症状が出現 した数日間(咽頭から 2 週間、糞便から数週間)	発熱、咽頭炎、頭痛、食欲不振、扁桃腺 炎、結膜炎	主な症状が消え 2 日経過してから
5	流行性角結膜炎 (はやり目)	2～14 日	症状が出現した数日間 ～2 週間	軽熱、結膜充血、目やに、耳前リンパ 節腫脹・圧痛、流涙	感染力が非常に強いいため結膜炎の症 状が消失してから
6	急性出血性結膜炎	1～3 日	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週 間～数ヶ月排出される	急性結膜炎で結膜出血が特徴	医師により感染の恐れがないと認め るまで
7	麻疹(はしか)	8～12 日	発症 1 日前から発しん 出現後の 4 日後まで	高熱・風邪症状・結膜充血・目やに・頬粘 膜に小斑点、一時解熱し再び高熱・耳後 部から赤い発疹が全身に広がっていく	解熱後 3 日を経過してから
8	風疹	16～ 18日	発しん出現の前 7 日か ら後 7 日間くらい	種々の発疹、軽熱、リンパ腺腫大	発しんが消失してから
9	百日咳	7～10 日	抗菌薬を服用しない場 合、咳出現後 3 週間。 抗菌薬投与開始後 7 日未滿	次第に咳が強くなり、コンコンと咳き 込んだ後にヒューという音をたて息 を吸う。夜間悪化する。	特有の咳が消失するまで又は 5 日間 の適正な抗菌薬による治療を終了す るまで
10	腸管出血性大腸菌 感染症	3～4 日	便中に菌が排泄されて いる間	激しい腹痛、頻回の水様便、血便合併 症:溶血性尿毒症症候群、脳症	症状が治まり、かつ抗菌薬による治療 が終了し、48 時間をあけて連続 2 回 の検便によって、いずれも菌陰性が確 認されたもの
11	新型コロナウイルス 感染症			発熱、全身倦怠、筋肉痛、頭痛、咽頭 痛、咳合併症:肺炎、中耳炎、熱性けい れん、脳症	発症した日の翌日から 5 日を経過 し、かつ、症状が軽快した日の翌日か ら1日を経過するまで
12	結核				医師や自治体の指示に従ってくださ い
13	髄膜炎菌性髄膜炎				医師により感染の恐れがないと認め るまで

14	溶連菌感染症	2～5日	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	発熱、咽頭痛、扁桃腺炎、莓舌、頸部リンパ節炎、全身倦怠	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
15	マイコプラズマ肺炎	2～3週間	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	咳、発熱、重症の場合呼吸困難	発熱や激しい咳が治まっていること
16	帯状疱疹	不定	水疱を形成している間	小水疱が片側性に神経に沿って現れる。神経痛・刺激感・掻痒感	すべての発しんが痂皮化してから
17	ヘルパンギーナ	3～6日	急性期の数日間(便中に1か月程度ウイルスが排泄される為要注意)	高熱、咽頭痛咽頭に水疱合併症:熱性痙攣、脱水	解熱後1日以上経過し、普段の食事ができること
18	RSウイルス感染症	4～6日	呼吸器症状のある間(通常3～8日、乳児では3～4週間)	発熱・鼻水・咳・喘鳴・呼吸困難、乳児期早期は入院が必要となることが多い	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
19	手足口病	3～6日	ウイルス排泄は唾液中は通常1週間未満、糞便は数週間持続	感冒様症状、手足口に赤斑→水疱	解熱後1日以上経過し、発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
20	伝染性紅斑(りんご病)	4～14日	発しん出現前の1週間	顔面赤斑、特に頬部の赤斑性発疹	全身状態が良いこと
21	突発性発疹	約10日	感染力は弱いですが、発熱中は感染力がある	高熱が3～4日続いた後解熱とともに体幹部を中心に鮮紅色の発疹が出現する。	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと
22	ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	ロタ1～3日 ノロ12～48時間	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐・下痢・食欲不振症状が悪化すると脱水、痙攣を起こすこともある。ノロは白っぽい便が出る。	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
23	感冒性胃腸炎			便の回数が頻回、水様便または便がゆるい	便が頻繁でぐったりしている等はお迎えを依頼する場合があります。便の形状が普段と異なる、便が3、4回以上出る、ぐったりしている等の症状がある場合は自宅での休養をお願いします。
24	アタマジラミ	10～14日	発症から駆除開始後数日間	痒み	出席停止は不要であるが、治療を開始していること(医師の指示通り駆除して薬を散布していること)
25	伝染性軟属腫(水いぼ)	2～7週間	不明 自然消失を待つ間に他へ伝播することが多い	直径1～3mmの半球状丘疹の特徴的な皮疹。自然治癒もあるが数ヶ月かかる場合がある。	水いぼ部分を覆う。水いぼの数が多い場合には、受診をお願いすることがあります。
26	伝染性膿痂疹(とびひ)	2～10日	効果的治療開始後24時間まで	湿疹や虫刺され痕を掻爬した部に細菌感染を起こし、びらんやアトピー性皮膚炎があると重症化することもある	とびひ部分がガーゼ等で覆う。とびひの範囲の大きさによっては登園できません。

※1～13は治癒証明書が必要なもの。14～22は医師に保育園へ登園可能か確認の上、登園して下さい。(登園再開日に、受診した病院、登園可能の有無など口頭で伺うことがあります。23～26は症状によっては受診をお願いします。)  
 ※診断されたらその日のうちに園にご連絡下さい。※一覧表は目安とし、詳細は主治医に確認して下さい。

保育所における感染症対策ガイドライン 2012年改訂版 厚生労働省 参照 H29.3 作成